

地域ICT強靱化事業取組事例報告

# 地域コミュニケーションツールとして 活用を目指す防災情報ステーション

長野県 辰野町

まちづくり政策課 情報通信係長 加藤恒男

# 長野県 辰野町

- 人口 20,569人 7,779世帯
- 総面積 169.2km<sup>2</sup>(山林原野が9割)
- 7つの谷に各集落



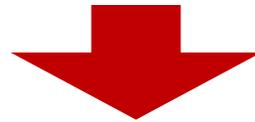
風光明媚・・・地形的に風水害が発生しやすい環境

# 地域防災の目標

## ☆地形・地質的なリスク

### 十幾多の災害から学んだ経験

- 風水害（豪雨、積雪、土砂崩落）
- 地震（地震防災対策強化地域）
- 集落の孤立、交通の遮断



## 【辰野町地域防災計画】



平成18年7月の豪雨災害



～町民一人ひとりの自覚及び努力を促すことによって  
できるだけその被害を軽減していくことを目指す～

災害情報の伝達

災害情報の収集・連絡

通信手段の確保

# 本事業に求めたもの

## ①通信手段の確保

- 避難所には、個々に利用できる通信手段がなく、家族間の連絡や各人に合わせた情報伝達の手段がない。
- 公共施設のWiFi整備は住民要望もあり、防災・観光上の必要性も認識していたが、財政上の理由で2施設のみ整備

→ スマートフォン等の携帯端末で利用しやすい仕組みを

## ②災害情報の伝達・収集

- 山間部で各地区の気象状況も異なり急変する
- 避難誘導の際、道路・避難所の状況把握と伝達が必要

→ 避難所やその周辺の映像を提供できれば、より多くの情報を正確・迅速に伝えられる



# 事業概要

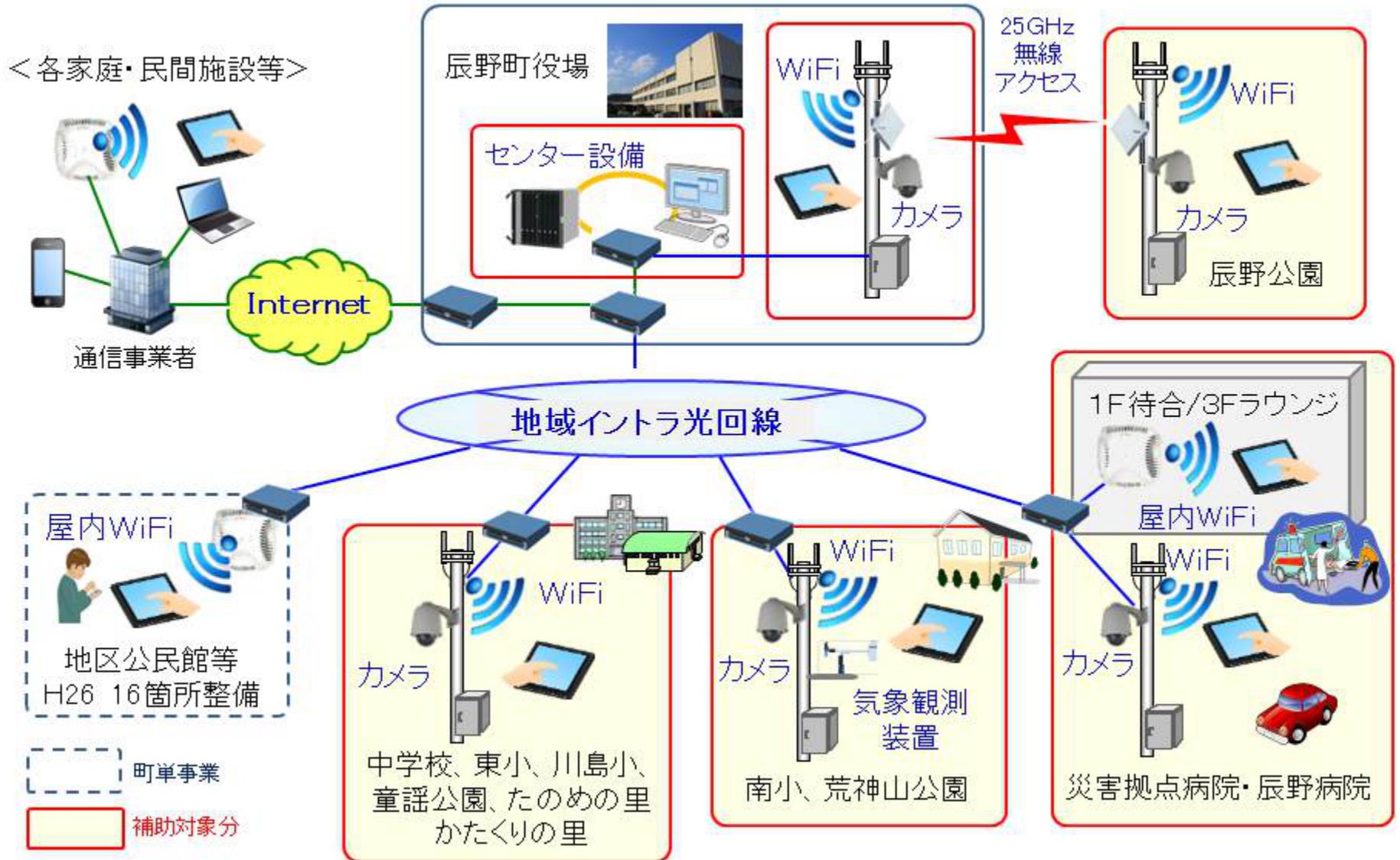
＜平成25年度地域公共ネットワーク等強じん化事業＞

- 防災情報ステーション(11箇所)整備
- 配信アプリ(ポータルサイト)構築
- 公民館等に屋内向けWifi-AP設置(町単事業)

＜構想から本稼動まで＞

H25.6～ 情報収集・構想立案着手	H26.9 事業完了
H26.1～ 事業公募	H26.10-11 仮稼動・調整期間 (情報の蓄積、関係者説明、規則改正、 広報準備等)
H26.3 申請→交付決定	
H26.5 業者選定→仮契約	
H26.6 議会承認→本契約・着手	H26.11.25 本稼動(一般公開)

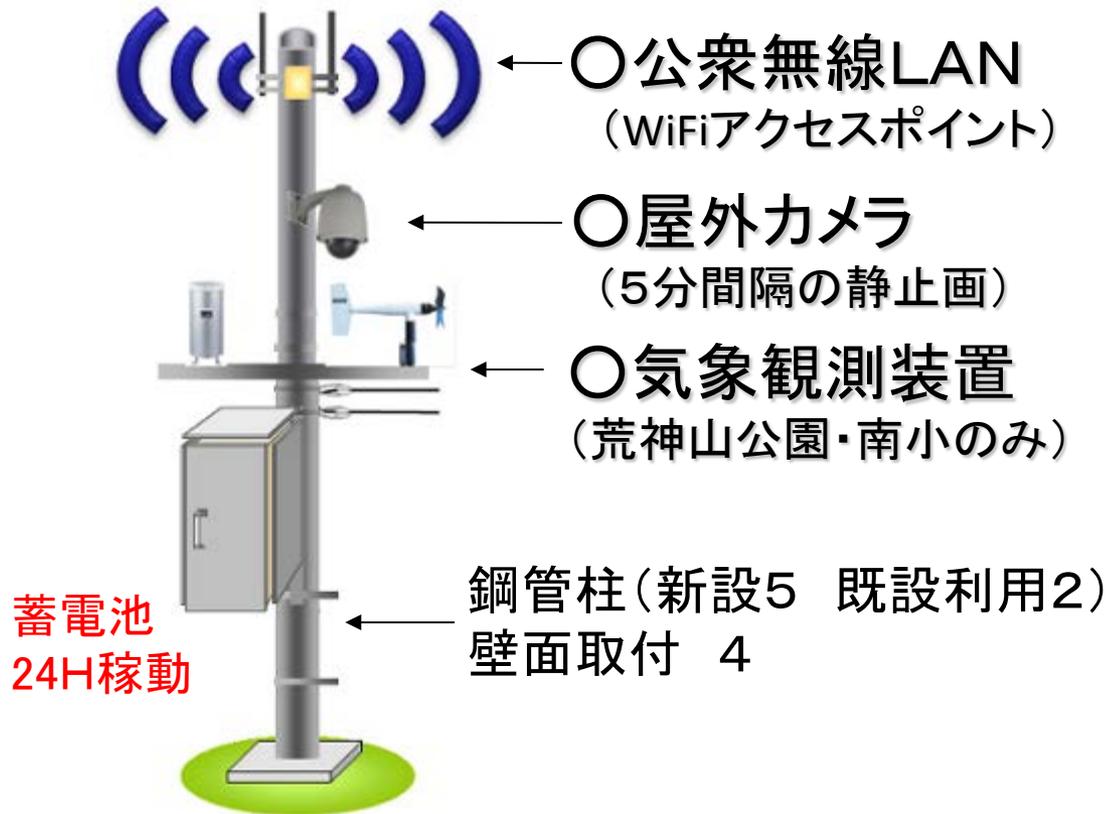
# システム概要



# 防災情報ステーション



荒神山公園



＜設置場所＞ 辰野病院を除き避難場所に指定  
役場、辰野病院(災害拠点病院)、小野介護予防センター  
かたくりの里、中学校、川島小、東小、南小  
辰野公園、荒神山公園、ほたる童謡公園(平出側)

# 配信アプリ(ポータルサイト)

＜お知らせ＞  
防災行政無線や告知システムで放送された緊急情報・行政情報を確認可



WiFi接続時は初期表示

## ＜ライブカメラ＞

防災情報ステーション11箇所のカメラで道路・河川など避難所周辺の最新状況を確認可  
※5秒毎に撮影の静止画  
荒神山公園と南小は、5分更新の気象観測値(気温、雨量、風速・風向)も掲載

ライブカメラ

戻る

場所: 荒神山公園 (気象観測情報あり)  
映像日時: 2015/01/08 10:50:21

A live camera view showing a park area with a road, trees, and buildings in the background. The view is from an elevated position looking down.

気象観測情報 2015/01/08 10:45 現在

風速:1m/s 風向:北西  
気温:0.7℃  
降雨量:0.0mm/h (0.0mm/10min)

# 配信アプリ(ポータルサイト)

＜辰野町への連絡＞  
利用者から役場へ、  
災害現場や危険箇所  
などの状況、交通渋  
滞や迷い犬、不審者  
情報等を写真添付で  
簡単に連絡可  
(撮影場所の位置情  
報も添付可)



＜グループメール＞  
家族や友人、職場の仲間  
などあらかじめ登録したグ  
ループのメンバーに簡単  
操作で一斉メールを送信  
(複数グループも登録可)  
日頃は会合のお知らせ、  
グループの回覧版として、  
緊急時は安否確認用に  
(発信者の位置情報も添  
付可)

＜辰野町の情報／観光情報＞  
町ホームページの注目記事へリンク



<https://bousai-jst.town.tatsuno.nagano.jp/>

# 工夫した点 ①

## ☆ 地域イントラネット(光回線)を足回り回線に利用

(電気通信事業者としてサービス提供中)

※上位のインターネット回線に接続できない場合も、町との連絡情報伝達が利用可

## ☆ 幅広い利用者に配慮したWiFi環境

- メールアドレス認証(避難所開設時は解放)
- 利用時間 最長60分(接続3回まで)
- メールアドレスとMACアドレスでログ管理
- 公衆インターネット接続利用規則改正(ログイン画面表示)

※日常の利用が想定される保護者の声も聞きながら今後改善(公園はもちろん、学校で部活の応援での利用シーンが…)

# 工夫した点②

## 日常での利用が定着することが一番の目標

(日常的に利用されるものが緊急時に最大限効果を発揮する)

### ☆すぐに使える配信アプリ

インストール不要のポータルサイト方式に

スマートフォン、タブレットのみならずPCでも使える

(インターネットにも公開することで利用を日常化)

直感的に操作できるデザイン(13カ国語対応)

### ☆積極的な広報活動

広報誌、行政チャンネル、ホームページ、メールマガジン

区長会、除雪会議、消防団、職員出前講座

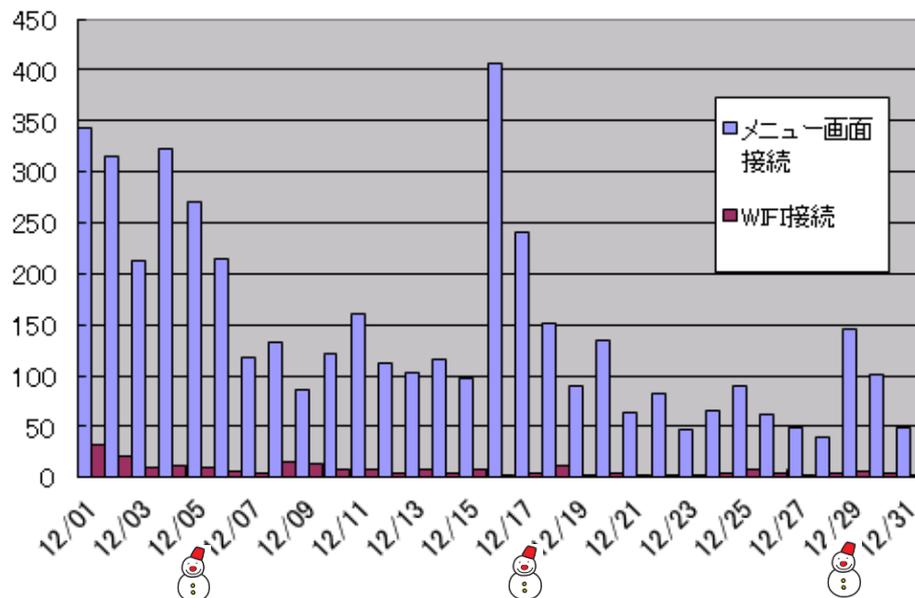
※観光イベント・防災訓練などで継続して情報発信したい

# 稼働後の状況と今後

<12月～1月の平均>

- WiFi接続 215件/月
- メニュー画面へのアクセス  
4,536件/月

※積雪時に利用が多い



<今後の利用促進>

※観光シーズン（桜、ほたる祭り、夏の行楽、秋の紅葉）等  
イベントポスター等に掲載し利用促進）

※消防団・保護者（＝若年層、地域を担う人材）の日常利用を促進

※WiFi増殖計画の検討（共通サイン、機器設置支援等）